

## 体験交流館ニュース

### 昔ながらのもちつきを楽しみました

体験交流館の「こどもひろば」は3月13日、同館で開催され、会場は多くの子どもたちや親子連れでにぎわいました。参加した子どもたちはまがたま作りや五感の達人などのメニューを楽しんだ後、昔ながらの千本ぎねを使ったもちつきに挑戦。つき上がったもちはきなこやあんこをつけて豚汁と一緒に振る舞われ、子どもたちがおいしそうにほおばる姿が見られました。



### 22年度体験交流館合同開講式

～新しい春、あなたの学びたい気持ちを応援します～

体験交流館では、本年度もさまざまな講座を企画しています。合同開講式に参加して代表的な講座の説明や発表などを聞いてみませんか。皆さんのご来場をお待ちしています。

期日：4月24日(土)

時間：午前9時30分～12時00分

内容：主催事業の説明、基調講演、町体験交流協会加盟の2団体によるアトラクション、職員紹介  
対象：どなたでも参加できます

### 体験交流館ホームページ

体験交流館のホームページを開設しました。館で開催するイベント、講座の情報、生涯学習課で取り組む事業や体験交流協会の事業についても随時更新していきます。施設の空き状況なども検索できますので、パソコンをお持ちの人はぜひ活用してください。

URL

<http://www.town.inawashiro.fukushima.jp/taiken/>



### 体験交流館利用についてのお知らせ

- ① 4月から体験交流館の利用申請期間が変更になります。大研修室を催事以外で利用する場合（練習など）と、その他の研修室を利用する場合は…  
**■利用日の2カ月前から前日までの間に予約、申請と支払いを済ませてください。**  
**■利用日当日は、窓口利用許可書を提示してください。**
- ② 持ち込み電気器具は、1ヵ所につき、1時間60円の料金がかかります。
- ③ 4月から月2回程度、メンテナンスなどのため休館します。活動日と考えていた皆さんには大変ご迷惑をかけますが、ご理解とご協力をお願いします。

休館日	4月	4日(日)・26日(月)
	5月	2日(日)・24日(月)
	6月	6日(日)・28日(月)
	7月	4日(日)・26日(月)
	8月	1日(日)・23日(月)
	9月	5日(日)・27日(月)
	10月	3日(日)・25日(月)
	11月	21日(日)・22日(月)
	12月	5日(日)・27日(月)
	1月	10日(月)
	2月	27日(日)・28日(月)
	3月	6日(日)・28日(月)

### ボランティアスタッフ研修会開催

体験交流館で開催するイベントなどのボランティアスタッフを育成する研修会は舞台関係が2月24、25の両日、音響関係が3月11、12日の両日、同館で開かれました。

受講した皆さんにはさまざまな催事でボランティアとして活躍していただくことができますので、ご協力をよろしくお願いします。



### 未登録の銃砲・刀剣類を発見した人は登録を受けてください

未登録の銃砲・刀剣類を発見したときは、最寄りの警察署に発見を届け出てください。

発見届が済むと、県教育委員会(県教育庁文化財課)から発見届出者に登録審査会の案内がありますので、案内に従って手続きをしてください。すでに登録済みの銃砲・刀剣類の所有者が変更となる場合には県教育委員会に所有者変更の届け出が必要になります。

銃砲・刀剣類の適正な取り扱いにご協力をお願いします。

問い合わせ先：県教育委員会 文化課 ☎ 024(521)7787



県指定重要文化財 「一太刀 長道・兼定・道辰共謹鍛之」(土津神社所蔵)

## 猪苗代町体験交流協会からのお知らせ

町体験交流協会は、猪苗代町体験交流館「学びいな」を拠点とし、学びいなの運営基本理念である「新たな人づくりと生涯学習の場」「新たな芸術文化の創造と発信の場」「新たな協働と連携による地域間交流とまちなかへの誘導拠点としての情報発信の場」の形成を図るため、21年3月に設立しました。現在68団体、14人の個人会員が加入しています。

去年は出来たばかりで右往左往していましたが、ギターコンサートなどの主催事業、アメリカ空軍音楽隊の公演、学びいなまつり、ほたるやサギ草の鑑賞会などの協働事業、舞踊4団体発表会、各団体の発表会やクリスマスコンサートなどの共催・後援事業を催し、あわせて学びいなをこれからどのように利用していくかなどの企画会議や学びいなとその周辺の清掃なども実施しました。

また、人材育成として当面、舞台、照明や音響などの研修会を実施したところ、協会に加入している人はもとより、未加入の人の参加もあり今後も続けていきたいと考えています。

新年度に合わせて、各団体や個人に活動内容や講座を開くことができるかなどの調査を実施しました。結果を生かし、より多くの人が楽しく学び、体験できるイベントの開催に努めていきます。

体験交流協会では団体・個人を問わず会員を募集しています。

問い合わせ先 町体験交流館「学びいな」 ☎(72)0180

体験交流協会総会 日時：22年4月24日(土)13:00～ 場所：体験交流館「学びいな」

内容：21年度事業・決算報告・22年度事業・予算(案)

## いなわしろふる里かるた発売

教育委員会では、生き粋セミナー(高齢者対象の講座)の中で猪苗代町に関する内容の「ふる里かるた」づくりに取り組み、21年度に成果品が完成しました。すでに町内の小・中学校には贈呈済みで、今後活用が期待されるふる里かるた。22年度からは皆さんにも発売することになりました。

発売時期：22年7月

申込期間：22年4月～5月31日

販売価格：はがきサイズ：1,200円、はがき1/2サイズ：800円

取扱場所：町体験交流館「学びいな」 ☎(72)0180

その他：詳細は別に発送した「ふる里かるた申し込み」をご覧ください。

※現在販売している図書(取扱場所は町体験交流館です)

○猪苗代町史 歴史編：4,800円

自然編：3,500円

民俗編：4,000円

○いなわしろの民話 : 900円

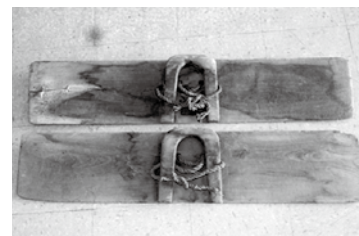


## 民具から知る昔 くなんばく

昔から農作業などわたしたちの生活に密着していた民具。急激に進んだ機械化により、今ではその姿を見ることがほとんどなくなりました。民具は同じ作業に使うものでも、その地方の風土、気候にあわせて工夫されているのが特徴です。今回はこの地方のヒドロタ(湿田)で使われていたナンバを紹介しします。

ナンバは横に長い板状の道具で、主に杉や朴の木で作られていました。中央にあるU字形の突起に足を通して履き、くわで起こした土塊を踏みくぐり、また、馬のいない家では、青草を刈って田んぼに入れて踏み、肥しにするカッチキ(刈敷)という作業があり、ナンバはこれにも使われていました。ナンバの歴史は古く、稲作が始まった弥生時代ごろにはすでに使われていたと考えられています。本町とは遠く

離れた静岡県の岡県にある弥生時代の遺跡、登呂遺跡、からも類したものが出土しています(小澤)。



写真のナンバはふるさと歴史館に展示してありますので、ぜひご覧ください